

第65回国民体育大会関東ブロック大会テニス競技成績

2010.8. 20~22

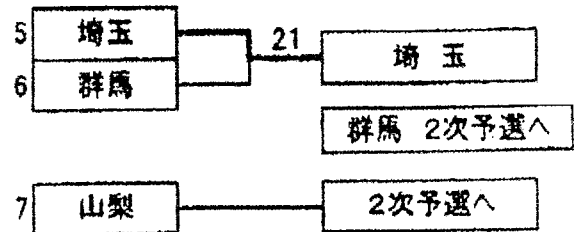
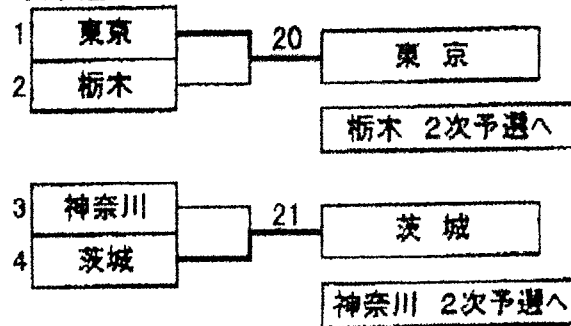
群馬県総合スポーツセンター

組み合わせ【成年男子の部】

都県	監督	選手	都県	監督	選手
東京	奥 大賢	1 奥 大賢	埼玉	笹井 正樹	1 笹井 正樹
		2 竹島 駿朗			2 濱中 重宏
栃木	山口 尚吾	1 山口 尚吾	群馬	中澤 博俊	1 松田 隼十
		2 鈴木 佳太			2 中澤 博俊
神奈川	酒井 祐樹	1 酒井 祐樹	山梨	保坂 充彦	1 保坂 充彦
		2 只木 慎彰			2 岡 英樹
茨城	平岡 伸雄	1 川崎 光			
		2 平岡 伸雄			

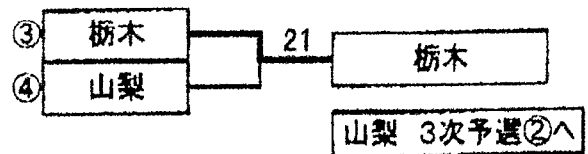
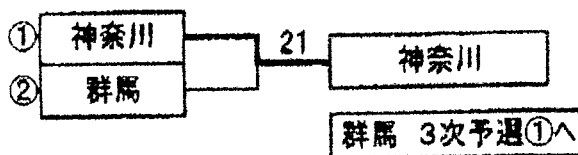
●8月21日(土)【1日目】

1次予選



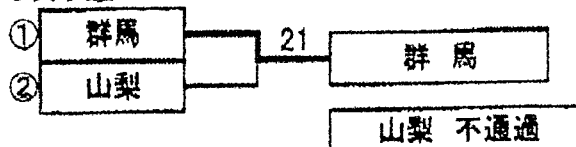
2次予選

4県にて抽選を行う



●8月22日(日)【2日目】

3次予選

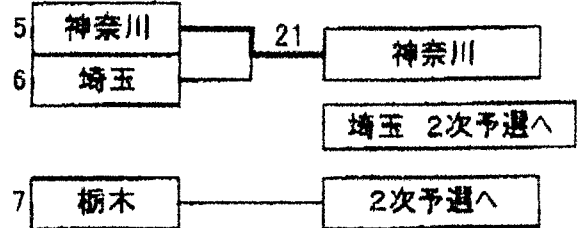
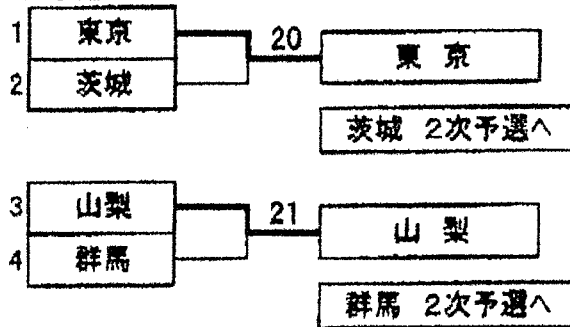


組み合わせ【成年女子の部】

都県	監督	選手	都県	監督	選手
東京	大竹 志歩	1 桑田 寛子	茨城	阿久津 朋	1 寺田 美色
		2 大竹 志歩			2 阿久津 朋
神奈川	梅田 さやか	1 梅田 さやか	埼玉	鈴木 直子	1 鈴木 直子
		2 福井 恵実			2 権頭 由梨
山梨	奥田 なる美	1 大澤 愛加	栃木	渡辺 裕美子	1 上吉原 あい
		2 奥田 なる美			2 渡辺 裕美子
群馬	鍋谷 昌栄	1 鍋谷 昌栄			
		2 中嶋 紗有里			

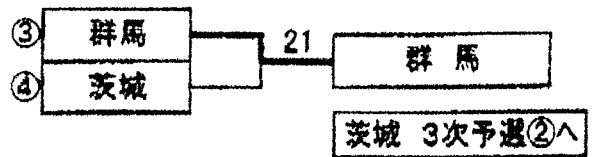
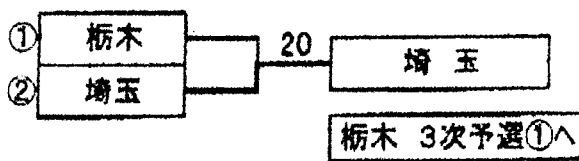
●8月21日(土) (1日目)

1次予選



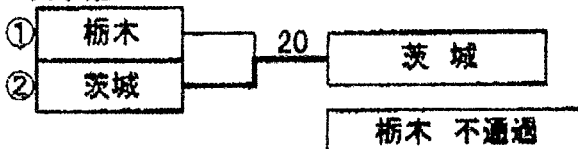
2次予選

4県にて抽選を行う



●8月22日(日) (2日目)

3次予選



栃木県テニス協会
 総監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成22年8月20日(金)～8月22日(日)
- ・会場 群馬県総合スポーツセンター
- ・主催 (財)日本体育協会・群馬県・関東テニス協会・前橋市
- ・主管 群馬県教育委員会・群馬県体育協会・群馬県テニス協会
前橋市教育委員会・前橋市体育協会
- ・後援 文部科学省

2. 試合方法

- ・男女共にダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：山口尚吾 鈴木佳太

2. 成年女子 監督：渡辺千鶴 選手：渡辺裕美子 上吉原あい

トレーナー：海老澤重一

4. 試合結果

成年男子 1次予選 対 東京都：8月21日(土)

	栃木県	0 -	東京都
S 1	山口尚吾	6 - 8	奥 大賢
S 2	鈴木佳太	5 - 8	竹島駿朗
D	山口尚吾 鈴木佳太	打ち切り	奥 大賢 竹島駿朗

成年男子 2次予選 対 山梨県：8月21日(土)

	栃木県	- 1	山梨県
S 1	山口尚吾	7 - 9	保坂充彦
S 2	鈴木佳太	8 - 6	岡 英樹
D	山口尚吾 鈴木佳太	9 - 8 (5)	保坂充彦 岡 英樹

成年女子 2次予選 対 埼玉県：8月21日(土)

	栃木県	0 -	埼玉県
S 1	上吉原あい	5 - 8	鈴木直子
S 2	渡辺裕美子	2 - 8	権頭由梨
D	上吉原あい 渡辺裕美子	打ち切り	鈴木直子 権頭由梨

成年女子 3次予選 対 茨城県：8月22日(日)

	栃木県	0 -	茨城県
S 1	上吉原あい	4 - 8	寺田美邑
S 2	渡辺裕美子	5 - 8	阿久津朋
D	上吉原あい 渡辺裕美子	打ち切り	寺田美邑 阿久津朋

5. 所感

今年は例年になく猛暑が続き、前橋市も37度まで気温が上がり選手にとってはとても大変な大会となりました。しかし、今年は本国体が千葉県開催のため千葉県を除く1都6県から6チームが代表になれるため、1試合勝てば本国体出場が決まるラッキーな年でした。

栃木の成年男子は、山口尚吾選手と鈴木佳太選手で二人とも国体出場の経験がある選手でしたが、二人で組むのは初めてでした。もともと二人はダブルスも得意な選手ですから、ダブルスに持ち込めばチャンスがあると思っていました。初戦の相手は、東京で第1シードでもあり、昨年の本国体優勝のペアでもあります。この二人にどこまでやれるかとても楽しみにしていました。特に山口選手は調子が良く、昨年全日本選手権でシングルベスト16に入った奥選手とストロークでは互角に打ち合い5 - 5までお互いサーブをキープしたが、中盤以降、奥選手がスライスを使い緩急をつけられるとストロークにミスが出始め、11ゲーム目をブレイクされ6 - 8で敗戦した。負けはしたものの大きな収穫になったと思う。一方、鈴木佳太選手はサーブの調子が良くなく、サーブゲームをキープ出来なかったが、竹島選手もサーブをキープ出来ず4 - 4まで競っていた。しかし、後半は竹島選手も徐々に調子を上げ、5 - 8で敗れ二次予選にまわることになった。二次予選の相手は抽選の結果、山梨県に決まった。シングルス2本取って本国体出場を決めたかったが、初戦、調子が良かった山口選手のストロークにミスが目立ち、2 - 6までリードされた。しかし、山口選手も意地を見せ7 - 7で追い付いたが、前半のミスがひびき7 - 9で敗れてしまった。鈴木佳太選手も接戦でしたが、最後は相手を突き放し8 - 6で勝利し、ダブルスの勝負となった。立ち上がり、先日ブレイクし優位に試合を進めたが、中盤にミスが目立ち、7 - 7と追い付かれ、8 - 7でマッチポイントもあったがチャンスを活かせずタイブレークの勝負となった。タイブレークも先行したが5 - 5に追い付かれ相手が有利かと思われたが、最後は積極的に攻め2ポイント連取し本国体出場を決めた。

成年女子はJOPポイント順で7位のため、2次予選からの出場で初戦の相手は1次予選の敗者と抽選の結果、埼玉県に決まりました。シングルス1の上吉原選手は、前半リードされ、後半に調子を戻し追い上げたが、前半のリードがひびき、5 - 8で落としてしまった。シングルス2の渡辺選手も善戦したが、2 - 8で敗れ3次予選にまわることになった。

3次予選の相手は茨城県で勝った方が、本国体最後の切符を手にする事が出来る戦いでした。上吉原選手は4 - 4まではイーブンでしたが、中盤以降相手のストロークのミスも減り、ストロークで左右に振られ、ネットに詰めボレーで決められるパターンが増え、後半は相手のペースで試合が進み4 - 8で敗れてしまった。渡辺選手は序盤リードされ、中盤以降は粘りをみせ追い付きかけたが5 - 8で落とし、残念ながら本国体出場は出来なかった。

今年は前橋市が会場であったため、栃木からも多くの方が応援に来ていただき本当にありがとうございました。選手にとって、とても力になったと思います。お陰さまで成年男子は本国体出場が決まりました。千葉国体では、昨年以上の成績が残せるよう頑張りたいと思います。

最後に、関東テニス協会をはじめ、群馬県テニス協会の役員の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。また、栃木県体育協会にはいろいろご支援、ご指導いただき、ありがとうございました。今後とも栃木県のテニス競技発展のため、頑張っまいりますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。